

ノリ養殖環境速報 KH-01-02 (播磨灘)

令和元年11月13日 発行

調査年月日：令和元年11月12日

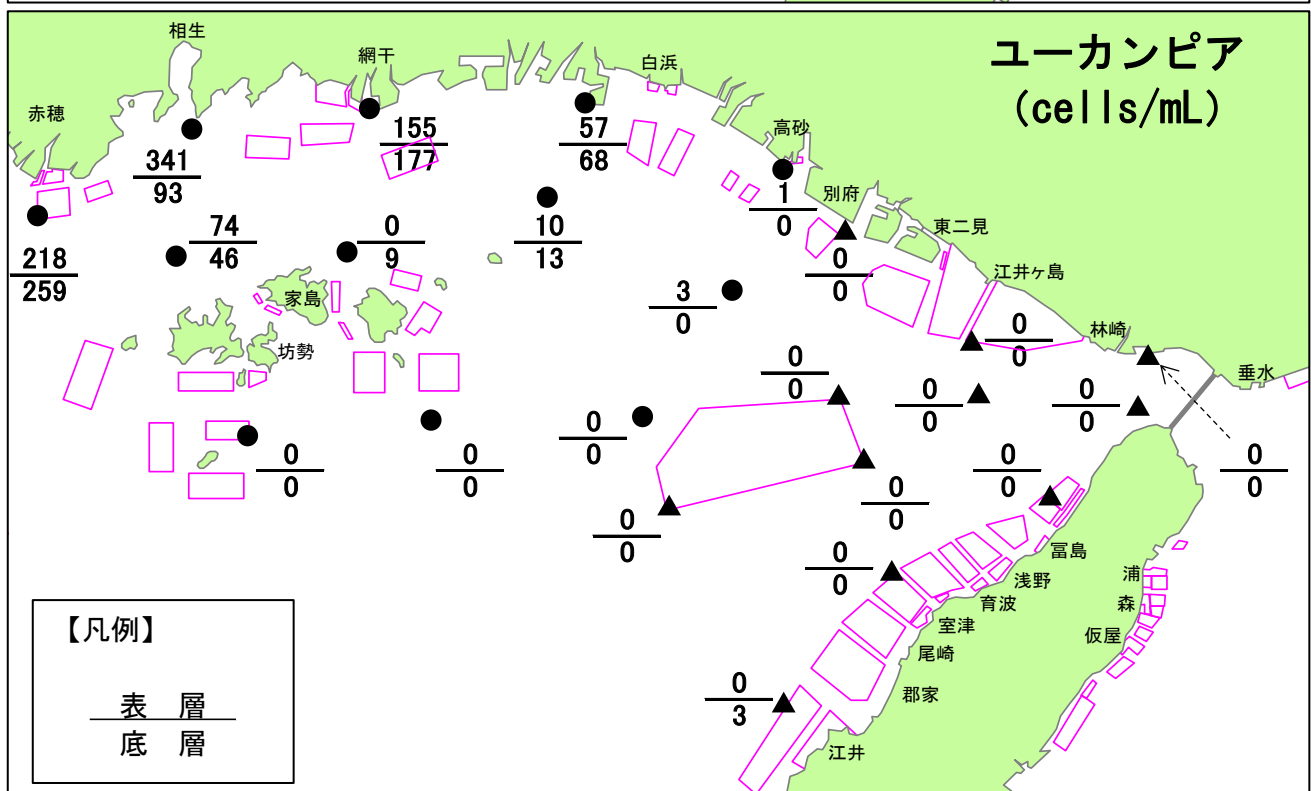
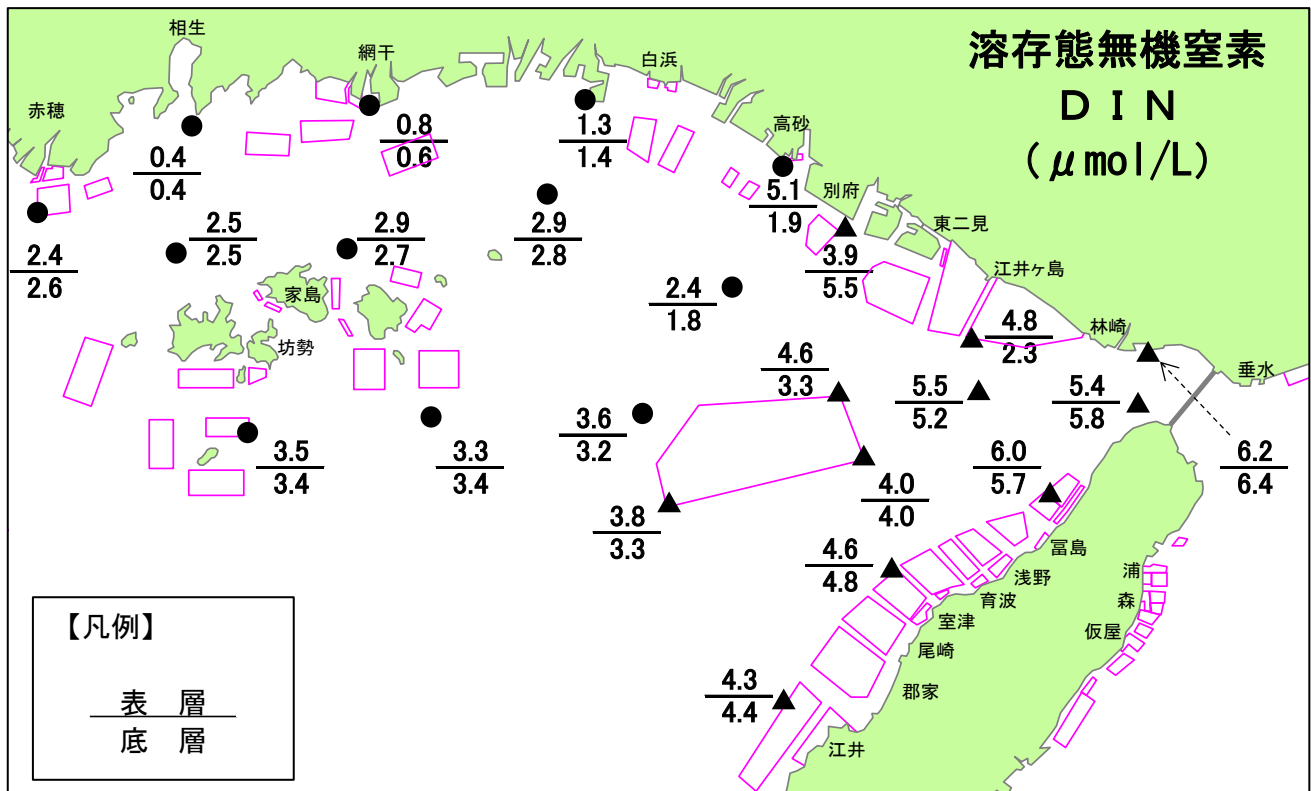
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

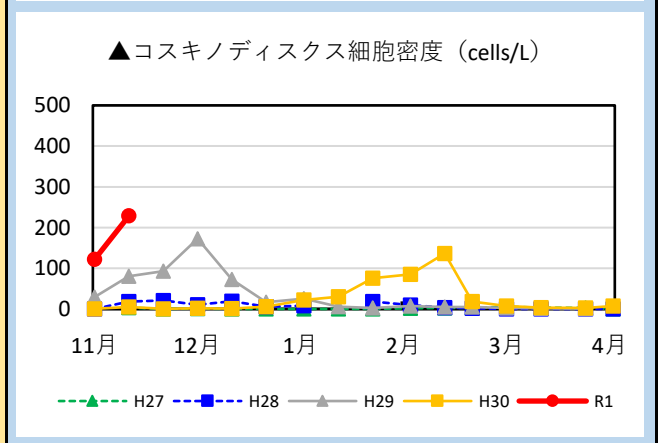
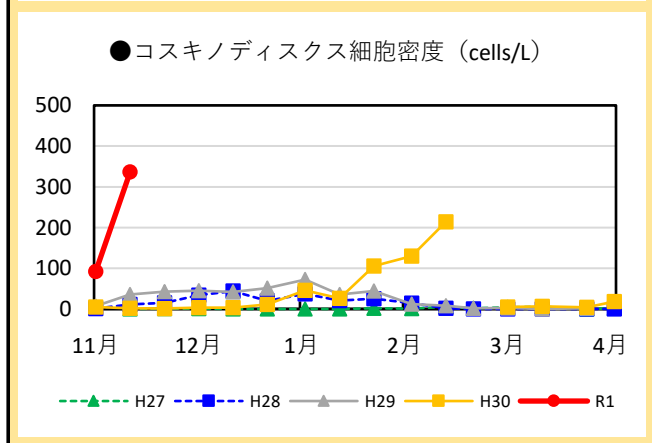
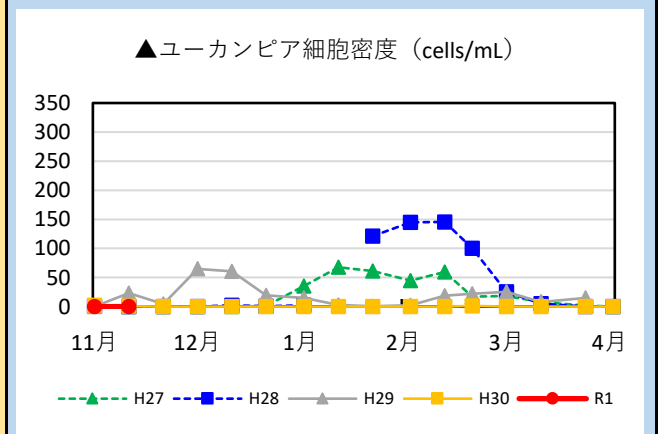
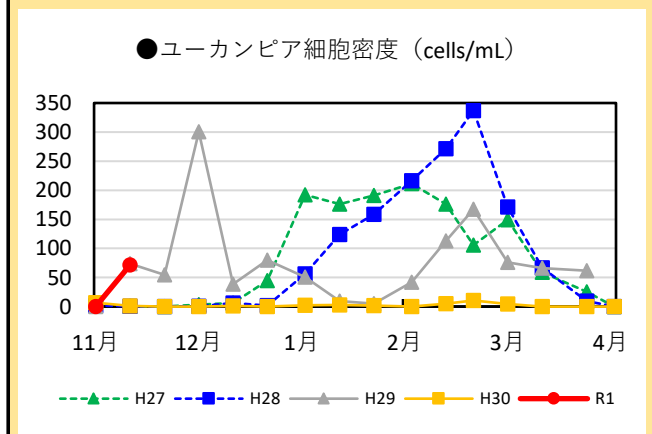
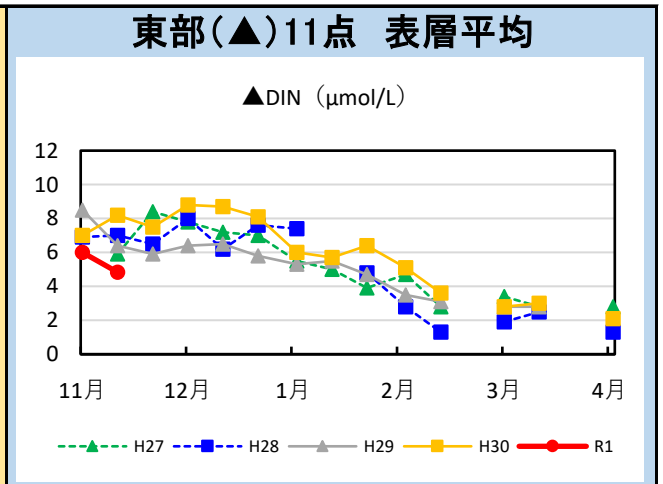
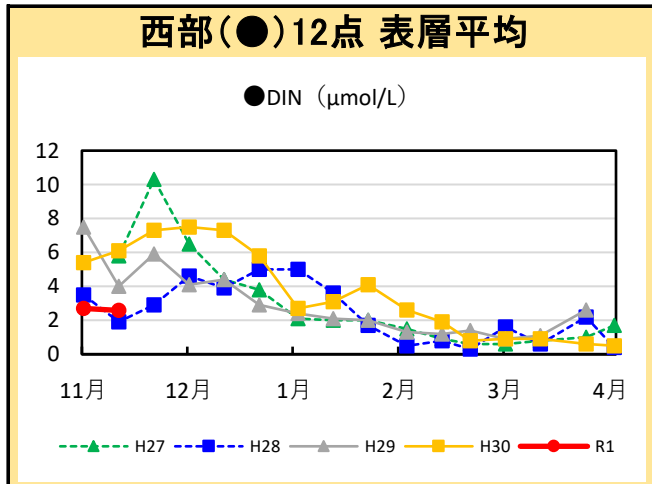
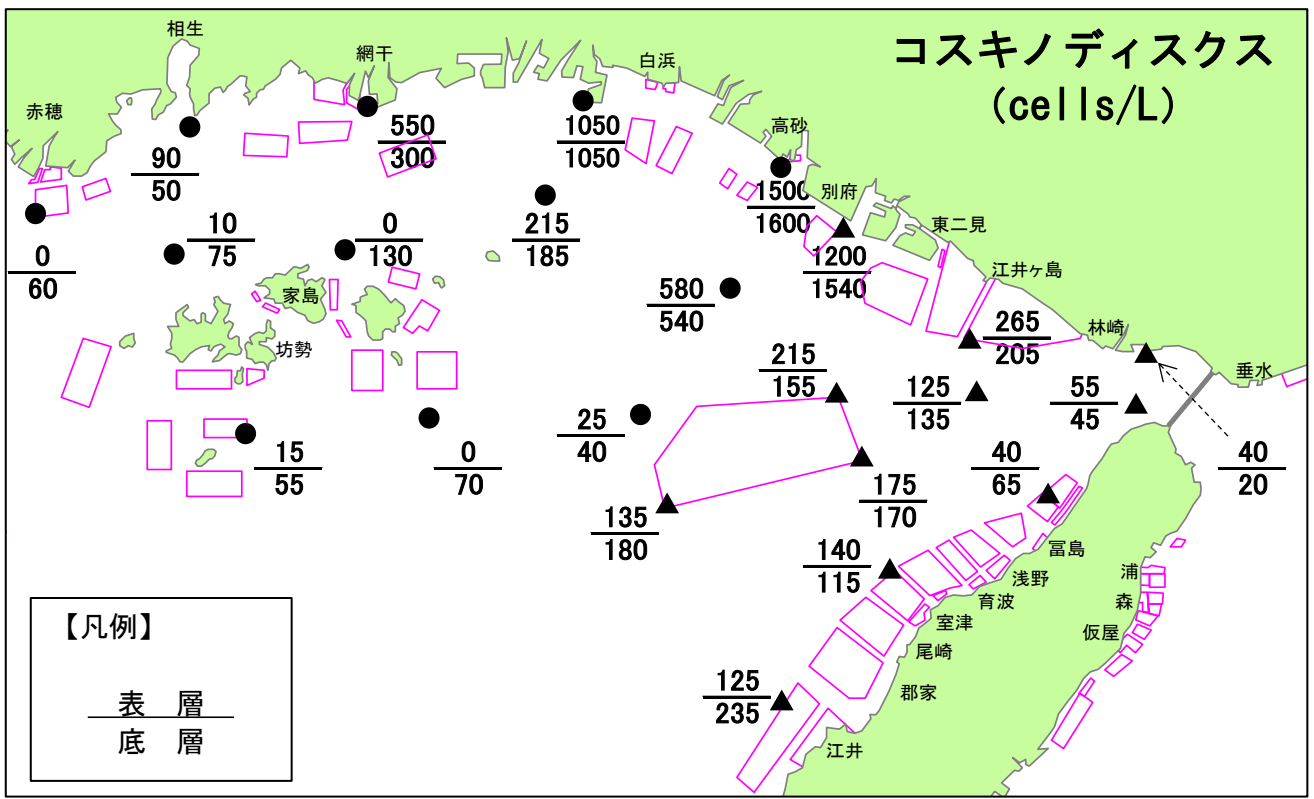
概況

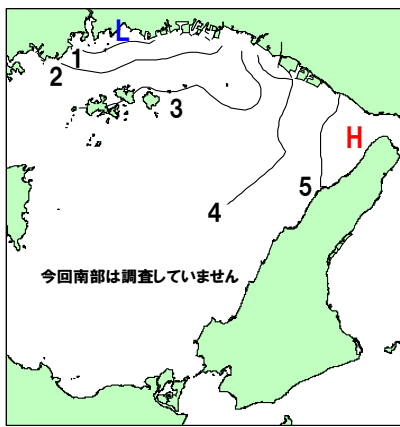
播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.4~5.1 $\mu\text{mol/L}$ の間、東部では3.8~6.2 $\mu\text{mol/L}$ の間で推移しています。白浜から相生にかけての沿岸部では、2.0 $\mu\text{mol/L}$ 以下と低くなっています。

西部沿岸でユーカンピアが多く発生しています。これから分布域が拡大する恐れがありますので、今後の動向にご注意下さい。また、前回に引き続き、大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーが広い範囲で多く確認されています。ヌタの発生や栄養塩濃度の低下にご注意下さい。

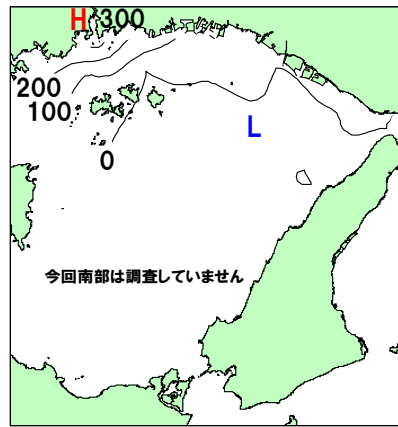
水温は、白浜以西では19.4~20.0 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では20.9~21.5 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で19.8~20.7 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では20.7~21.2 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では20.6~21.0 $^{\circ}\text{C}$ でした。



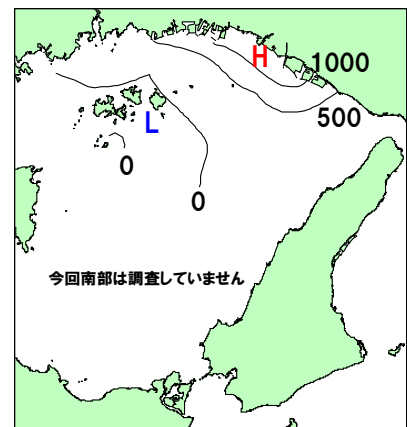




DIN濃度(μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

令和元年11月12日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は播磨灘東部で高く、北西部(沿岸部)で低い結果でした。

ユーカンピアは播磨灘西部沿岸域で多く確認されており、今後の分布の拡大に注意が必要です。また、大型珪藻のコスキノディスクス ワイレシーは前回に引き続き播磨灘全域にわたって確認されており、特に白浜から別府にかけての沿岸部で多く確認されています。

珪藻類の発生状況(特にユーカンピア)によっては、DIN濃度の低い状況が続く可能性もありますので十分ご注意ください。

週間天気予報 気象庁11月12日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では前線や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日がある見込みです。中部や南部では高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日があるでしょう。

最高気温は、平年並か平年より高く、期間のはじめは平年より低い日がある見込みです。

最低気温は、期間の中頃にかけて平年並となり、終わりは平年より高いでしょう。

降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の情報は11/6に、香川県の情報は11/12に更新されています。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【参考】栄養塩の単位 : μmol/L = μg・at/L = μM

【今後の予定】

- ・令和2年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は令和元年11月21日頃に発行する予定です。
- ※この情報は、水産技術センターホームページ(<http://www.hyogo-suigi.jp/>)でもご覧いただけます。